

環境保全対策審議会の見直しについて

活動内容、メンバーの検討が必要では？

問 昨年12月定例議会におきまして「御前崎市環境基本条例」が可決されました。第21条で「環境対策審議会」を置くこととされていますが、この「環境対策審議会」はすでに13名の委員から成る組織が設置されており、一方、長期的な見通しのなかで、財源確保の為に企業誘致は必要であり、用地造成にあたり、環境アセスメントが必要になってまいります。「環境保全対策審議会」も、これらに対応できるように、事業の見直し、学識経験者を加える等のメンバーの見直しをする考えは

答 現在の審議会は、規則により市長の諮問機関として地域の生活環境を保全していくために議会議員と各種団体代表の13名で組織されておりまし

て、市内の公害事情の実態把握や地域開発等における公害防止の配慮、自然環境の保護、保全に関してご審議をお願いしています。

現在ある「環境保全対策審議会規則」の一部改正を予定しているところですが、市の環境対策として活動内容の見直しを含めて、委員さんに学識経験者の起用や必要に応じて専門分野の方の出席を求め、今後早急に検討してまいります。

また、企業誘致の推進に関する開発でございしますが、将来の財政基盤確保に向けた池新田工業団地の造成や工業団地の可能性調査を実施した候補地を、今後適地調査に切り替えて基本計画を策定していく予定です。

※環境アセスメント(環境影響評価)

大規模な開発事業を行う場合、それが周辺の環境にどのような影響を与えるかについて事業者が調査、予測及び評価を行うとともに、環境を守るための対策を検討し、その対策がなされた場合における事業の与える環境への影響を総合的に評価することです。



岡村 勝

漁業政策指針と水産基本計画について ・ 学校図書館について

水産振興策とは

問 水産庁は漁業者への支援策として、漁獲量の減少・減収の資金補填と、新鮮で安全な水産物を安定的に供給するため、幾つかの支援策が計画されました。現在御前崎港所属の大型漁船は120トン以上が5隻、中型漁船119トン以下が2隻と厳しい状況下であります。海外の健康志向から、水産物の需要が高まる中、輸入量の減少が心配されています。しかも、漁獲量確保のための、中型漁船造船費用は、5、6億円でリスクも大きく不透明です。魚価安定などにに対し、広く消費者への理解が必要とされており、そこで、国の支援事業の内容と、消費拡大と魚普及活動として、春のイベント等を計画してはどうか

答 漁業者に対し国際競争力のある経営体を効率的かつ効果的に育成するため、国はグループで新たな新造船を導入すると、大型漁船のリースを行う漁業者に限り融資の保証と、合理化に対して助成する支援です。市が直ちに取り組むものでなく、水産全体に活力を取り戻す施策を推進すること、市の役割と想っています。なお、漁業への理解と魚普及事業として、イベントの計画を検討します。

学校図書館の充実に向けて

問 児童にとつて身近な学校図書館の蔵書確保について、国は蔵書標準率を設けています。近年子供達の図書離れと読解力が減少する中、今後5年計画で約1、000億円の財政措置として、地方

付税に購入費を上乗せし行う事とされています。本来本市は、財政力から不交付団体となりますが、合併特例で10年間交付されます。この利点を活用し、蔵書の充実を図ってはどうか。また「言葉は命なり」とも言われ、読書力が要因の1つであると思えます。是非蔵書標準率に近づこう努力されたい。そこで、学校図書館の現状はどうか

答 平成5年から地方交付税で措置されてきています。図書予算は小学校に350万円(5校分)、浜岡中学で120万円、御前崎中学が100万円となっています。「なぶら子ども読書活動」推進計画に基づき、3年後の努力目標として1ヶ月一人当たり読書冊数を小学生8冊、中学生は3冊に向けて推進します。



大澤 満